

ただいま卒業証書を授与致しました491名の卒業生の皆さん。ご卒業おめでとうございます。そして、保護者の皆さま、お子様のご卒業心よりお祝い申し上げます。本日はPTA会長稲葉真貴様、部活動後援会会長岩井一好様のご臨席を賜り、第25回卒業証書授与式を挙行できますこと、大変喜ばしく思っております。

皆さんが入学したのは2021年4月です。コロナは依然として猛威を振るい、出口の見えない閉塞感を感じながら毎日を過ごしていたと思います。入学式は全員マスク姿。保護者の方の出席も制限がありました。

私は入学式の式辞で、皆さんにこんな話しをしました。「一定の国語力、計算能力、文学や歴史、地理、自然科学に関する知識など皆さんが生きていく上で力となるものを身に着けてほしい。そして、自分とは何なのか、生きる意味とは何かを追求して、本を読み漁り悩んだり、人を好きになって眠れない夜を過ごしたり、夜を徹して友と語り合ったり、グラウンドで汗と涙を仲間たちと一緒に流したりする。そんなかけがえのない青春の日々を送りながら夢や希望を追い続けてほしい」と。

約束された1000日の日を今日終えようとしています。皆さんにとってこの3年間は、「人生で一番短い3年間」だったのでしょうか。夢や希望を追い求めることができた、あるいは手にすることができた青春だったのでしょうか。素晴らしい青春の汗を流すことができたのなら、その汗の分だけ皆さんは成長を实

感しているはずです。

時を2023年の夏に戻しましょう。草薙球場で行われた高校野球の準決勝と決勝戦。本校生は焼けつくような真夏の日差しの中ひたたる汗をぬぐおうともせずスタンドから応援を続けていました。そしてどの学年よりも熱い視線を注ぎ、グラウンドにいる選手たちに届けとばかりに糸乱れず、最後の最後まで大きな声で声援を送っていた生徒たちがいました。そうそれは皆さんです。得点が入るたびに肩を組んで歌う「建学の歌」。その応援は対戦相手の学校をして「翔洋の応援はすごい、迫力が違う、心がひとつになった素晴らしい応援をしていた」と言わしめました。多くの方々も異口同音に本校の応援に称賛の声を上げていました。試合後、球場の外に残っていた生徒達は私を見つけてこう言ったのです。「先生、翔洋は挨拶、礼儀、身だしなみ、美しい環境づくりの四箇条だけではありません。挨拶、礼儀、身だしなみ、美しい環境づくり、そして応援が静岡翔洋なんです」と。私は感動しました。

今のネット社会は、人への批判、悪口、非難であふれかえっています。悲しいことです。心無い誹謗中傷は自分の不満のはけ口にすぎず、その鋭い言葉は刃となって人を精神的にも肉体的にも追い込み、深く傷つけます。

他者を応援できる人間はその対極にいます。人の頑張りや懸命な姿に精一杯の拍手や励ましの声を送る。誰かのために応援できること。そういう姿は

美しく人の胸を打ち、感動的ですからあります。社会的な弱者や精神的に追い詰められ心が折れそうな人にやさしい言葉をかけ、その悩みに寄り添い、解決策を導き出すための行動をとることも応援の一つです。応援できる人間、応援する人間、そういう人間は逆に応援される人間になります。翔洋は他者を応援できる生徒がいる学校であると胸を張って言えます。それは皆さんが残してくれた素晴らしい伝統です。今後とも「誰かのために応援できる人間になる」という志をもってどうか社会に飛び出して行ってほしいと思います。

さて、皆さんの将来は前途洋々です。前途洋々とはこれからの人生が大きく開けていて希望に満ち溢れているという意味です。皆さんには若さがある。多くの時間がある。色々な可能性に挑戦するエネルギーがあります。しかし、皆さんが打って出ていく世界は必ずしも平穏な世界であるとは言えません。

世界はますます狭くなっています。2019年12月にある国で発生したコロナウイルスは、年が明けた2月には日本を襲い、あっという間に世界中に広がって、多くの人々をパニックに陥れました。人、もの、お金の移動流通は激しく、海の向こうで起こったことは遙か彼方の出来事ではもはやなく、我々の日常生活にすぐに影響をもたらします。終わりが見えないウクライナとロシアの戦争は石油や天然ガスの国際価格の高騰を招き、両国で世界輸出の30%を占める小麦の価格は過去最高に達し私たちの生活を苦しめています。

また、元旦に起こった能登半島地震を見るまでもなく、日本は地震によって大きく被害を受ける国でもあります。日本の歴史は災害と復興の歴史といっても過言ではありません。

皆さんの使命は安全で安心な社会を作ることです。自由で平等で平和な世界を作るという大きな責任があります。前途洋々たる人生を歩むためにどうか果たすべき役割を自覚し、幸福な社会を作るために頭にも心にも体にも汗を流してください。

静岡翔洋高校からは悠久の姿をとどめる美しい富士が見えます。永遠にそびえ立つ富士のように皆さんの友情もいつまでも続くことでしょう。そして、この校舎はいつまでも皆さんの応援団です。どうぞ、翔洋生らしく胸を張って、自らの抱く希望に向かって歩みを進めてください。希望こそ生きる原動力です。素晴らしい人生の「門出」となることを祈念致しまして、「告辞」といたします。

卒業おめでとう。